



2024年10月

栃木県テニス協会 理事長 吉井正光

TTA レポート(No.132)

今年の国民スポーツ大会2024SAGA で成年女子が優勝しました。森崎可南子選手と今西美晴選手で臨んだ今大会は圧倒的強さを見せてくれました。成年女子は栃木で5位、鹿児島で3位となり佐賀で優勝、これまでの悔しさを晴らせた大会となりました。

それに続き少年女子がベスト8になりました。こちら石井絢選手と平野愛実選手が昨年の鹿児島を超える結果を収めました。

成年男子と少年男子はともに1回戦を突破し2回戦に進みました。成年の部では海野優輝選手が大学1年生、真中翔楊選手は大学3年生、少年の部では江原叶碧選手が高校1年生、柳沢昊選手が高校3年生という若手を含む布陣で臨んだ結果には将来性を期待して良いのではないのでしょうか。

こうして今年の国スポは終了しましたが、私たちは来年に向けた取り組みを始めています。

日本サッカーの父と呼ばれているデットマール・クラマー氏は「タイムアップの笛は、次の試合へのキックオフの笛である。」と仰っています。来年の滋賀国スポで新たな戦力を育てることがとても重要なことだと思います。

まずは国スポ代表選考大会に臨んだ選手に最近の大会成績を考慮した選手を集め強化練習会を始めています。

いっぽうでジュニア大会の参加者減少が顕著になっています。中でもオープン大会における県内選手が上位に残れる割合が激減しています。これは県全体で取り組まなければならない大きな課題です。

このような傾向に対する普及活動として県主催大会日程の中にテニスクリニックを組み入れ、多くの方にテニスを楽しんでもらう取り組みを始めているほか、お子さんとご家族向けにプレイ&ステイを実施し、すそ野を広げる活動を継続していく中で将来の有望選手発掘と育成が実現できればと思っています。

